



山形国際 ドキュメンタリー 映画祭

10

www.yidff.jp

代のための 映画便



11.13[Fri]-19[Thu]
パンク・シンドローム
ブアさんのござ

11.20[Fri]-26[Thu]
ドストエフスキーと愛に生きる
ビラルの世界

映画祭過去受賞作品を、
期間限定オンライン無料配信でお届け！
フィンランド、インド、東欧、ヴェトナム——
あなたはどの国、誰の物語とつながりますか？
世界史の教科書には出てこない
個性豊かな人間ドラマにお家でアクセス！

主催：認定NPO法人 山形国際ドキュメンタリー映画祭
協力：エスパース・サロウ、アップリンク
ドキュメンタリー・ドリーム・センター



11.13[Fri]-19[Thu]

フィンランド発!
知的障害者の
パンクバンド



パンク・シンドローム

山形国際ドキュメンタリー映画祭2013
インターナショナル・コンペティション 市民賞
監督:ユッカ・カルツカイン、J-P・パッシ
フィンランド/2012/85分/日本語字幕つき

知的障害者4人が結成するパンクバンド“ペルッティ・クリカン・ニミパイヴァト”の様子を丹念に追った音楽ドキュメンタリー。施設や社会への不満を、強烈な歌詞にぶつける彼らの姿は、パンクファンのみならず、多くの人々を魅了し、笑わせ元気づける。

提供:エスパース・サロウ

記憶
ヴェトナム戦争の



ブアさんのごさ

山形国際ドキュメンタリー映画祭2013
アジア千波万波小川紳介賞
監督:ズーン・モン・トゥー/ヴェトナム/2011/35分
日本語・英語字幕つき

ヴェトナム戦争時、解放軍側と傀儡政府軍側にいた住民が、酒を酌み交わしながら戦時中の体験を語り合う。ブアさんは、洗濯のかたわら新婚当時を振り返り、米軍兵士から受けた拷問の話をする。彼女たちが日常生活のなかで語る戦争体験は、村の記憶となって映像に刻まれる。

11.20[Fri]-26[Thu]

84歳の
文学に寄り添う
翻訳家の半生



ドストエフスキーと愛に生きる

山形国際ドキュメンタリー映画祭2011
インターナショナル・コンペティション優秀賞
監督:ヴァディム・イェンドレイコ
スイス、ドイツ/2009/93分/日本語字幕つき

高潔なる知性を鋭い眼差しに宿す84歳の翻訳家スヴェトラナ・ガイヤーが織り成す深く静かな言語の世界と、紡がれる美しい言葉たち。ドストエフスキー文学と共に歩んだ一人の女性の数奇な半生を追ったドキュメンタリー。

協力:アップリンク

カルカッタの路地、
たくましく
生き抜く



ビラルの世界

山形国際ドキュメンタリー映画祭2009
アジア千波万波奨励賞、コミュニティシネマ賞
監督:ソーラヴ・サーランギ/インド/2008/88分
日本語字幕つき

盲目の両親とコルカタで暮らす3歳のビラルの日常を映し出す。息もつかせぬスピードで描かれる、路地の喧騒と一家の日々は、地球上の多くの場所で人々があえぐ貧困の現実。そんな中でも、生き抜くたくましさを持ち、ごく普通の愛情にあふれる家族の姿には尊さすら感じられる。 提供:ドキュメンタリー・ドリーム・センター

配信用特別ウェブサイトは、11月13日[金]以降、映画祭公式HP(www.yidff.jp)よりアクセス可能となります。映画祭参加時の監督Q&Aやインタビュー映像、メッセージ動画、そして作品をよりよく知るためのワークシートなどももりだくさん。乞うご期待!